



はにわ
埴輪職人に挑戦！
ミニ埴輪
をつくろう

日時 6月22日(土)、23日(日) 午前10時～、午後2時～
 ※各日2回開催。体験時間の目安は90分。
会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
対象 どなたでも
定員 各10名(先着順)
費用 200円(埴輪製作キット代金)
用意 汚れてもよい服装
申込 6月8日(土)午前9時から電話または直接下記へ
 ★本庄早稲田の杜ミュージアム ☎ 71-6878



四ツ目綴りに挑戦！
と
和綴じ本風メモ帳
をつくろう

日時 6月29日(土)、30日(日) 午前9時～午後4時30分(最終受付 午後4時)
会場 本庄早稲田の杜ミュージアム
対象 どなたでも
費用 無料
 ※申込不要。直接会場へ。
 ★本庄早稲田の杜ミュージアム ☎ 71-6878

塙保己一の奉納刀が
市指定文化財に！

★文化財保護課 ☎ 25-1186



4月18日、市教育委員会において、「塙保己一の奉納刀(糸巻太刀拵)」を市指定有形文化財とすることが決まりました。

この奉納刀は、天明3年(1783年)に塙保己一が保木野村の稻荷神社に奉納した刀で、自身の検校就任を報告したものとされています。

この刀は、制作当初から刀身を持っていないことが特徴で、これは公家による奉納や、格式の高い神社への奉納で見られるものです。

郷土の偉人である塙保己一と地元とのつながりを示す貴重な資料として、今後塙保己一記念館で特別公開を予定しています。

企画
展示

小野義一郎コレクション

オリエントへのまなざし

—古代ガラス・コプト織・アジア陶磁—

★本庄早稲田の杜ミュージアム ☎ 71-6878



※この展覧会は、早稲田大学會津八一記念博物館で3～4月に開催された同名企画展の巡回展です。

オリエントと呼ばれる西アジア地域は、古代にメソポタミア文明やエジプト文明が生まれ、その後もシルクロードの中継地として長く東西を結び要地であり続けました。

実業家の小野義一郎氏(1918～2007)は中国大陸の先に広がるオリエントに憧憬し、300点を超える工芸資料を収集しました。今回は、早稲田大学會津八一記念博物館に寄贈された小野義一郎コレクションの中から西アジアの古代ガラスやイスラーム陶器、エジプトのコプト織、東南アジアの陶磁等約80点を一挙公開します。小野氏が思いを馳せたオリエントの魅力をお楽しみください。

期間 6月29日(土)～9月1日(日)

会場 本庄早稲田の杜ミュージアム早稲田大学展示室

費用 無料

キッズデー&ミュージアムデー大盛況！

4月27～5月6日にこどものための特別なワークショップを行う『キッズデー』が、5月18日には国際博物館の日に合わせ『ミュージアムデー』がそれぞれ開催されました。

キッズデーでは、土器マグネット作りやオリジナル缶バッジ作り等を楽しみました。

ミュージアムデーでは、縄文時代の土器制作者をテーマにした講演会や伝統芸能である金鑽神楽宮崎組、吉田林の獅子舞が上演、また、早稲田大学モダンジャズ研究会のコンサートが行われ、大勢の来場者が特別な時間を楽しみました。



①～③キッズデーワークショップ、④ミュージアムデー講演会、⑤・⑩金鑽神楽宮崎組、⑥・⑨吉田林の獅子舞、⑦・⑧早稲田大学モダンジャズ研究会